希望の杜だより 第10号

発行　社会福祉法人希望の杜福祉会
970-8026　いわき市平字北目町39-10
TEL0246-38-6201　FAX0246-38-6202
http://www.kibounomori.or.jp/
mail kibou@kibounomori.or.jp

2013年2月7日

私たちから元気をお届けします！！

新年のごあいさつ

理事長　加藤秀男

皆様には希望にみちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は希望の杜福祉会に深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災からまもなく二年、各事業所は懸命の努力により立ち直ってきていますが、楢葉事業所に至っては、作業所を見捨てるほかないところもあり、今年も復興に向けた試練に耐える一年になりそうです。

障がい者が福祉サービスを利用する際、用料に応じて負担額を決める（重度の人負担が大きくなる）応益負担は、生存権の障などを定めた憲法に抵触します。三年前に国と調印した、「基本合意」を守らせましょう。

明るい話題も出てきました。ＩＰＳ細胞術を応用した精神疾患の再生医療です。脳脊髄液に移植すると、脳が持つ自己修復能力を借り、脳が自ら適切な場所へ誘い適切な種類の神経へと変化させてくれるというものです。

精神疾患にとって希望のもてる話題です。地域の皆様には引続きご支援を賜りますようお願いを申し上げ、皆様のご健勝をお祈りします。

障害者総合支援法が公布されました

今年４月に障害者総合支援法（以下総合支援法）が施行されます。しかし、この総合支援法は、成立過程や内容において多くの問題点があります。

①法案を策定する過程において、総合福祉部会が提言した「骨格提言」と「自立支援法違憲訴訟基本合意」をないがしろにしたものであること。

②国会での参議院・厚生労働委員会の審議が趣旨説明から採決までわずか３時間たらずで押し通し、参考人質疑もないままに強行採択されたこと。

これでは国会の徹底審議を求める障がい者や関係者の声が十分に反映されず、総合支援法が自立支援法のマイナーチェンジに過ぎず、国会が自立支援法に替わる新法制定を軽視したことになり、障がい者当事者や関係者の理解は到底得られません。さらに具体的な法律の問題点として、

①総合支援法では全ての障がい者が対象ではなく、発達障害・政令で定める難病の限定的な対象となっている。

②原則無償は見送りとなり、障がいの重い人ほど負担が重くなる応益負担を残している。

③障害程度区分によってサービス支給量を決定する仕組みは残し、施行後３年を目途に検討する。

④現在の日払いを変えず施行後３年を目途に検討する。

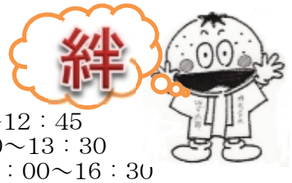
⑤骨格提言では介護保険と将来も統合しないとしているが、総合支援法は自立支援法と同じく将来の介護保険との統合を狙っている。

前政権の小宮山厚生労働大臣は国会答弁で「骨格提言は障がい者の願いのつまった重いものなので実現したい。すぐできないものは検討事項にいれた。骨格提言に沿って障がい者の意見を反映させて検討する」と述べています。

国会での大臣の言葉を実現すべく「骨格提言」と「自立支援法違憲訴訟基本合意」を改めて学びあい、障がい者の切なる願いのつまった法律制定の実現のために全国の仲間達と一緒に運動することが求められています。

常務理事　菅原　隆

＜豆腐・ドーナツ移動販売車＞



毎週火曜日
・富岡町仮設住宅（泉町）　ＰＭ12：00～12：45
・大熊町仮設住宅（渡辺町）　ＰＭ13：00～13：30
・楢葉町仮設住宅（中央台高久）　ＰＭ15：00～16：30
・広野町仮設住宅（中央台高久）　ＰＭ17：00～17：30

希望の杜福祉会の各作業所で、心を込めて作った豆腐・ドーナツ・お惣菜などを双葉郡の仮設住宅で移動販売させていただいています。

アクアマリンに行って来ました！！

「里のラスク」好評発売中！心を込めて作ってます

＜ふたばの里・りんべるハウスの今＞

いわき市平沼の内に場所を移して、まもなく二年が過ぎようとしています。缶バッヂ、紙すき、小物類の糊付けや裁縫等、楢葉町に帰れる日を願って作業を続けています。

先日、送迎で母親どうしの話し声が聞こえてきました。年齢の話、ひざの痛み等です。その様子を見て、「親もいつかは老い、子と離れる時がくる。その時、安心して託される施設でありたいな」と、ふと頭をよぎった送迎でした。

ふたばの里送迎担当　安島敬行

編集後記

だし員をいお
杜と職誤え。一読るも」たを。
の係ら錯迎た第、あ後りき想す
望報か行をし、でも今よい感ま
「希広所試行まはのろ、だて。ごり
　業、発きてなこが杜けす、お
　は、事りもでし誌とすの続ま見て
　各まらがと関いま望しい意し
の集がと係機くい希行思ごち
今り発と待
よてがなこ
のに思

広報係　松本　善孝

寄附・寄贈

24. 4月	２４時間テレビ愛は地球を救う
	ふたばの里へ　日産 バネットトラック１ｔ　寄贈
24. 4月	日本赤十字社
	ふたばの里へ　三菱ミニキャブ（軽トラック）寄贈
24. 5月	日本赤十字社
	ふたばの里へ　日産キャラバン１０人乗り　寄贈
24. 7月	いわき東ライオンズクラブ　ＡＥＤ1台　寄贈
24. 7月	原田　澂様　憩いの家へ日産ラフェスタ７人乗寄贈
24. 8月	ＮＰＯ法人難民を助ける会
	けやき共同作業所へ　LED照明及び取付部材一寄贈
24.10月	京都嵯峨野ロータリークラブ
	ふたばの里へ咲織機5台　寄贈
24.10月	社会福祉法人 丸紅基金
	ふたばの里へ　送迎用マイクロバス日産シビリアン２９人乗り　助成
24.11月	ソーラーフロンティア
	工房けやきへ　ソーラーパネル一式　寄贈
	つながり・ぬくもりプロジェクト
	工房けやきへ　工事費、その他諸経費　寄贈

ここにご紹介した方々以外からも、励ましのお言葉を始め、ひとかたならぬご配慮を頂きました。本当にありがとうございました。

事業所紹介

けやき共同作業所
けやき鹿島

けやき共同作業所（北目）・けやき鹿島ではいわき市から委託された高齢者向け配食サービス事業、一般のお客様向けの宅配弁当の製造、配達、回収作業やお惣菜の製造、販売を行っています。
また北目では輪ゴムの袋詰めや段ボールの組み立て等の基礎的作業を通して気持ちや体力を整えています。
現在は北目が56名、けやき鹿島が6名のメンバーが通所して、職員と共に一生懸命作業をしています。
今後も一人でも多くの障がい者を受け入れ、一般就労等、本人のニーズ合わせた支援を行っていきたいと思います。
また、利用者の工賃アップのためにも宅配弁当の注文等、ご協力よろしくお願いします。　　広報係　横山　大樹

けやき共同作業所
住所　いわき市平字北目町39-10
TEL　0246-25-5605

けやき鹿島
住所　いわき市鹿島町久保字於振17-1
TEL　0246-68-8757

厨房内での
お弁当の盛り付け作業

全員で協力しながら
輪ゴム製品を完成させます

H24. 8. 30 ～8. 31　『ばんだいのつどい』に参加してきました！！

国立磐梯青少年交流の家

『ばんだいのつどい』は、「福島県精神障害保健福祉会連合会（つばさ会）」が県の委託を受け毎年開催してます。約400名の当事者や家族や支援者が集まり、希望の杜からは利用者15名、ご家族1名、職員5名で「国立磐梯青少年交流の家」に一泊して来ました。
震災により避難生活と入院をした方の報告に始まり、「こんのひとみ」さんのコンサートに感動し、スポーツや文化活動、学習会、交流等盛り沢山の内容で、バイキングの食事に広いお風呂と、参加された利用者さんはみな大満足で笑顔で帰ってきました。　　あとりえ北山管理者　木村　活昭

もちつき感謝祭報告

H24.12.22（土）に希望の杜福祉会もちつき感謝祭が行われました。あいにくの雨模様になってしまいましたが、悪天候にも関わらずたくさんの方々に来場してもらい、予想以上の盛り上がりをしていたと感じました。

おいしいお餅を
求めて大行列！

皆、頑張ってお餅を
つきました！

きょうされん全国大会に行ってきました！！

２０１２年９月２８日５時。まだ薄暗い静まり返った朝、けやき共同作業所にはきょうされん全国に参加すべく計１６名が集合しました。これからマイクロバスで福井に向けていよいよ出発（長旅を覚悟して・・・）。

出発して４時間半、ようやく長野県に到着。まず、見学させていただいたのはＮＰＯ法人ポプラの会です。この会は当事者によって2004年に発足し、精神障がい者が安心でき、より良い地域生活を送れるようにと、現在、絵画教室やお茶のみ交流会、英会話など日中の居場所、交流の場を設けた地域活動支援センターを運営しています。またピアサポートや福祉サービス向上のための施策提言、要望活動なども行っているそうです。

ポプラの会を見学

その後、同じ建物内にある社会福祉法人絆の会が運営する喫茶りんどうで昼食。社会福祉法人絆の会は精神障がい者の憩いの場、働く場として「りんどう会」を発足、喫茶店を運営したことから始まった法人です。厨房にボランティアスタッフ、接客は利用者さんと分担がされており、お昼時もあり、とても賑わいを見せていました。食事後は高齢者対応のケアホーム「みらいコーポ稲葉」を見学。去年、完成したとても新しく立派な建物でした。
それから、約4時間。長野県から石川県へと移動。宿に着いたのは6時半でした。

みらいコーポ稲葉の見学

会場に続々集う皆さん

2日目、いよいよ、きょうされん全国大会に向けて出発です。会場付近には学生さんが、お手製のプラカードなどを沢山もって、会場への案内をしてくれました。開会式では作曲家　池辺　晋一郎さんによる障がい者と関ったきっかけなどをとても、熱く語ってくれました。その後、分科会へそれぞれが参加。私は「精神障害尊厳ある働き～ディーセントワーク～」に参加しました。レポーターは、社会就労センターパイ焼き窯管理者鹿島　法博さんです。ディーセントワークとは何か、利用者さんの実例を元に、実践してきた支援を伺いました。また、「当事者も支援者も自分らしい生活であれば収入が少なくてもよいという考えをやめ、常に良い生活イメージをもってほしい。そうした社会を作るために我々で作り上げていこう」と呼びかけていました。

開会式の様子

3日目、昨日に引き続き分科会へ参加。NPO法人ポプラの会事務局長　大堀　尚美さんがお話されました。一昨日見学した際に話した事業内容などの説明後、当事者として支援することについて「内なる差別」と闘ってきたこと、利用者さんやピアの仲間と付き合う内に、「人間として対等でいたい」と常に思うになり、自分が好きになってきたこと、などリカバリーの経過を話されました。
4日目、全国から集まった参加者全員が１分間スピーチを行いました。台風の影響もあり分科会は午前中で退席し、11時半、福島に向けて出発しました。道中、沢山のＰＡに立ち寄りながら、約9時間・・・ようやくけやき作業所に戻ってきました。長い道のりでしたが、全国の様々な事業に取り組む福祉施設の方々と交流できた事は、とても刺激になりました。
そして、来年はいよいよ福島県で開催します！！

きょうされん全国大会in東北ふくしま　9/21開幕！！

今年のきょうされん全国大会は福島県ユラックス熱海にて２０１３年9月２１日(土)～9月２２日(日)開催されます。被災地ふくしまをより多くの方に知って頂く良いチャンスではないでしょうか。
希望の杜福祉会でも、きょうされんの担当職員が全国大会の準備を進めています。
東北で起きた事を、東北が立ち向かった事を、今の日本が目指し作り上げなければならなかったことを、ここから「つたえ、つなぎ、はじめる」をテーマに開催します。 多くの支援への感謝と今後の未来への道しるべをここから示していきます。全国大会を東北ふくしまで開催するべく、みんな頑張っています！！

広報係　志賀　直子、中井　聡子

皆さんのご参加をお待ちしています!!